第43回神戸大学長定例記者会見　資料１

2020年5月22日

新練習船の建造について

国立大学法人神戸大学
三井 E&S 造船株式会社

国立大学法人神戸大学（所在地：兵庫県神戸市、学長：武田 廣、以下 神戸大学）と三井 E&S 造船株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：古賀 哲郎、以下 三井 E&S 造船）は、神戸大学向け新練習船（以下 本船）の建造契約を締結致しました。

神戸大学では「海の神戸大学」を標榜して、海洋政策科学部（仮称）の設置、高等研究院海共生（ともいき）研究アライアンスの活動、新練習船の建造などに取り組み、これらを全学的な取り組みである「海神（かいじん）プロジェクト」として推進しています。

本船は、「海神プロジェクト」の一環として、現在稼働中の練習船「深江丸」の代替船として建造を進めています。

練習船「深江丸」は 1987 年に三井造船（現 三井 E&S 造船）によって建造され、竣工以来神戸大学の教育活動を通じて、我が国の海運を担う多くの人材を輩出してきました。

しかしながら、社会状況の変化に伴い、練習船としての更なる機能強化に加え、大学所有船舶としての様々な教育・研究活動への寄与、社会への貢献なども求められています。このような中、本船は「多機能練習船」として、次の３つのコンセプトに基づいて三井 E&S 造船とともに建造を進めていきます。

(1) 高度海洋人材育成に不可欠な練習船機能の充実

(2) 先端的海域研究を可能にする探査観測機能の充実

(3) 海洋立国日本における社会的貢献の拡充

本船の建造は、神戸大学の有する船舶の運用及び教育活動に関する高い知見と、三井 E&S 造船の有する多数の調査観測船・練習船建造により培われた経験と優れた技術を基に、よりソーシャルフレンドリーな船舶デザインを模索しながら、2022 年度の運用開始を目指して着実に進めていきます。

本船竣工の暁には、神戸大学の高度な人材育成・研究教育活動を大きく前進させるとともに、社会的貢献も果たしてまいります。

【主要目】＊検討中

総トン数	約　830 トン
全長	約　59.60m
幅	約　11.00m
深さ	約　6.70m
航海速力	約　12.0 ノット
定員	66 名
竣工	2022 年 3 月（予定）

【参考】

*1　神戸大学海神プロジェクト　　http://www.org.kobe-u.ac.jp/kaijin-pj/

*2　三井 E&S 造船株式会社　　https://www.mes.co.jp/shipbuilding/

【問合せ先】
国立大学法人神戸大学
特別顧問　巽　好幸
TEL: 078-431-4617
E-Mail:　tatsumi@diamond.kobe-u.ac.jp

（報道担当）
国立大学法人神戸大学
総務部広報課　中塚　浩司
TEL: 078-803-5453
E-Mail:　ppr-kouhoushitsu@office.kobe-u.ac.jp